

県民協働の取り組みチェックシート

振り返り(評価)の各項目には「はい」、「いいえ」、「わからない」のいずれかを記入してください。

評価欄の「前」には、実際に振り返りを実施する前の各々の評価を記載してください。「後」には、振り返りを実施した後の評価を記載してください。

基本項目

記入者氏名:行政 社会教育・文化財課 向井 文子

CSO マザーリーフ 古江 浄子

事業名 佐賀県協働提案型家庭教育講座事業「子供の心に 言葉の種をまく ~生の声の力を信じて~」

事業内容

行政担当課 社会教育・文化財課

CSO名 マザーリーフ

協働はいつ開始されましたか。 1. 予算案作成前から 2. 予算決定後、企画の段階から 3. 実施段階から 4. その他()

協働の呼びかけは、どちらからですか。 1 CSO 2 行政 3 その他()

協働の形態は、何ですか。 協働型委託 共催 補助 後援 事業協力

県民協働のコーディネーターは同席しましたか。 同席した 同席していない(日程調整が難しいため)

振り返り(評価)項目	前		後	
	行政	CSO	行政	CSO
計画段階				
1. 事業の目的を明確にし、共有しましたか。	はい	はい	はい	はい
2. 成果目標を明確にし、共有しましたか。	はい	はい	はい	はい
3. 県民のニーズは反映されていますか。	はい	はい	はい	はい
4. 協働の理由は明確ですか。	はい	はい	はい	はい
5. ふさわしい協働の形態(委託、補助、事業協力)が検討されましたか。	はい	はい	はい	はい
6. 協働するCSOを選ぶ手法は適切でしたか。 当初から決まっている場合: 当初から決まっていない場合:	はい	はい	はい	はい
7. 相互を理解し、対等な関係を築けましたか。	はい	はい	はい	はい
8. 事業計画、収支計画をともに作りましたか。	はい	はい	はい	はい
9. 協働する期間をともに考えましたか。	はい	はい	はい	はい
10. 役割分担を明確にしましたか。	はい	はい	はい	はい
計画段階で記すべきコメント	<ul style="list-style-type: none"> 初めての経験で、戸惑いはあったが、書面での企画提案だけでなく、選考委員会があることで、目的や企画の内容をより明確にすることができてよかった。(CSO) 募集要綱や委託決定後の事前協議の説明で、事業の進め方や、会計の取り扱いが明確だったので分かりやすかった。(CSO) CSOが応募する際、内容や手順がよりイメージしやすいよう、委託要綱をさらに分かりやすくする。(行政) 委託契約後、事前協議を行い、講座の内容、構成、受講者へのアンケート、広報計画、収支計画を話し合ったことで、企画の細かい点が明確になり、共通理解して取り組むことができた。(行政・CSO) 			
実施段階				
1. 役割分担をともに共有し、果たしましたか。	はい	はい	はい	はい
2. 進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	はい	はい	はい	はい
3. 課題の発生には、お互い連絡しあい、素早く対応しましたか。	はい	はい	はい	はい
4. 事業の修正は、お互いに十分議論し、柔軟に対応しましたか。	はい	はい	はい	はい
5. 事業内容の報告をつくり、公開しましたか。	はい	はい	はい	はい

実施段階で記すべきコメント

- ・広報については、各市町の家庭教育支援担当課、子育て・家庭教育支援関係機関・団体に講座開催の通知を出したことで、各関係機関の理解を得ることができた。また、マスコミや県庁ホームページを使い、広く県民に広報することができた。(行政)
- ・各市町の家庭教育支援担当課に県から通知があったので、講座開催のチラシを持参したとき、きちんと対応してもらえた。また、県との協働、鳥栖市の後援を得ることで、事業実施のための会議等に公民館を無料で借りることができた。(CSO)
- ・事業実施の上で起こった細かい変更点や疑問点をお互いに連絡し合い、柔軟に対応できた。(行政・CSO)

成果の把握

1. 成果目標は達成できたか、お互いに話し合いましたか。	はい	はい	はい	はい
2. 成果目標は達成できましたか。	はい	はい	はい	はい

成果の把握において、記すべきコメント

- ・目標達成のための手法を設定し、講座ごとにアンケートや観察で検証したため、成果と課題が明確で、講座に生かすことができ、受講者の満足度の高い充実した講座となった。(行政・CSO)
- ・講座の実施状況を担当が実際見に行くことで、成果を把握することができた。(行政)

課題の抽出

1. 今後の課題をお互いに話し合いましたか。	はい	はい	はい	はい
------------------------	----	----	----	----

課題の抽出において、記すべきコメント

- ・企画提案の選考会で、質問されたことに全て答える時間がなかった。時間のゆとりがほしい。(CSO)
- ・再委託できる業務を明確にするなど契約条項の整備が必要である。(行政)
- ・事務所をもたない団体にとっては、電話、FAXが必要だが、年間契約のリースに比べ、レンタルは経費が高く、課題である。(CSO)
- ・ソフト事業をCSOに委託する契約の例があまりない。財務規則上誤りがなく、しかも本事業の実態に即した契約書づくりを模索している。県民協働事業のとりまとめ課が指針を示していただけるとありがたい。(行政)

改善案の作成

1. 改善案をお互い話し合い、作成しましたか。 <改善案内容のポイント> ・委託要綱、委託契約書を財務規則に合った内容にするとともに、CSOによるソフト事業という実態に応じた内容にする。	はい	はい	はい	はい
2. 今後の官民役割分担を明確にしましたか。	はい	はい	はい	はい

改善案の作成において、記すべきコメント

- ・子育ての多様な悩みや不安に対応した家庭教育講座が充実し、CSOが取り組みやすい契約のあり方を考えていく。(行政)
- ・企画書や選考会の経験がない団体も多いので、これまでの講座の様子や企画提案を公開できる範囲で、HP等で紹介する。(行政・CSO)
- ・県庁HPから、協働提案型家庭教育講座のページをすぐに見つけることができないので、ページの見つけ方も含めて広報する。(行政)

総合評価(よかった: 普通: 悪かった: ×)

自由意見

- ・委託料が50万円だったので、講座内容に即した講師を招聘でき、充実した公開講座となった。(CSO)
- ・不明な部分をお互いに頻繁にやり取りする中で、対等な関係を築くことができた。(行政・CSO)
- ・講座終了後、「長年、心の中にあった塊のような悩みが解けていくようだった。」という受講者からのお礼の手紙が寄せられ、講座をやってよかったと実感できた。(CSO)
- ・今回の講座を通して、「読み聞かせ」をする「本を紹介する」という活動だけではなく、なぜ活動するのか、何が大切なのかという、目的意識や学びが必要であることを実感した。(CSO)
- ・本事業に応募し広報していく中で、鳥栖市の子育て支援関係機関や団体との関係がさらに深まり、地域での協力の輪が広がった。(CSO)
- ・事業の実施を通して、お互いの長所を認識し、団体の組織力、運営力がさらに高まった。(CSO)
- ・読み聞かせボランティアとしての経験や知識を活かした、講座構成、講師選定ができ、掲示物や絵本の配置など、の居心地のよい場づくりを工夫されていた。(行政)